

川の国埼玉 はつらつプロジェクト 提案書

主題（テーマ）

～ ポタリングで巡るまちぎょうだ ～

提案箇所

忍川／行田市
酒巻導水路／行田市

行田市

本市では「第5次行田市総合振興計画(平成23年度～平成32年度)」において、活気と活力に満ちたにぎわいのあるまちづくりとして、地域の魅力にあふれたまちづくりを目指しています。

本提案では、忍川及び酒巻導水路における親水護岸や遊歩道の整備による既設区間の再生と観光ルートやポタリングルートの延伸により、忍川周辺の豊かな自然を訪れる観光客の中心市街地への回遊性を高めるとともに、観光客をおもてなし、市民も観光客も楽しめる『ポタリングによる回遊できるまちづくり』を目指します。

取組のイメージ図



・中心市街地への回遊性の向上

・忍川・酒巻導水路の観光ルート・ポタリングルートの充実

・新たな水辺空間と護岸整備によるまちのにぎわいの創出

計画等の位置付け

■第5次行田市振興計画

豊かな観光資源を有効活用し、活気と活力に満ちたにぎわいのあるまちづくりを目指している。

■行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

4つの基本目標の一つとして、地域資源を活かした観光戦略の推進を位置づけており、古代から現代に至るまでの多彩な地域的歴史的資源を最大限に活用し、行田ならではの観光まちづくりを図っている。

目標・成果指標

■まちなかと水辺空間の活性化

・市民、観光客がウォーキングやポタリングにより、本市の有する足袋蔵などの観光資源の体験や、豊かな自然や歴史などを肌で感じることができる整備を行い、イベントや観光ルートの充実によって、まちなかと水辺空間の活性化を創出します。

■水質改善

・合併処理浄化槽の設置を促進し、河川の水質浄化を推進を図ります。

成果指標	現在	整備後
観光入込客数	147万人/年	190万人/年
レンタサイクル貸出数	4000台/年	9350台/年

位置図



川の状況

■延長 忍川 12km、さきたま調節池（旧忍川）5km、酒巻導水路6km

■美化活動団体 12団体（うち川の応援団の登録3団体）

■川の特徴

・酒巻導水路下流部及び忍川との合流点以南は桜並木が続いている。

・毎年8月中旬には忍川の水辺再生100プランで整備された箇所を利用してとうろう流し納涼大会が開催される。

■過去の事業

・さきたま調節池（旧忍川）沿いは、さきたま古墳公園と古代蓮の里を結ぶ遊歩道が水辺再生100プランで整備されている。

・忍川・さきたま調節池（旧忍川）・酒巻導水路が、川のまるごと再生プロジェクトにより整備されている。

まちの状況

■地域資源

・本市は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稻荷山古墳をはじめ、日本最大の円墳である丸墓山古墳など、9基の大型古墳が群集する「埼玉古墳群」を有し、埼玉県名発祥の地として知られている。

・市内には悠久の眠りから目覚め開花した古代蓮など42種類約12万株の蓮の花が咲く「古代蓮の里」、江戸時代の忍藩十万石の城下町を今に伝える「忍城址」のほか、足袋の産地を物語る「足袋蔵」が点在する風情ある街並みなど、豊かな自然と歴史が息づくまちである。

■課題

・多くの史跡・観光資源に恵まれているが、それをつなぐ交通手段が不足している。忍城址や埼玉古墳群などの史跡・観光資源への観光客の滞在時間が短くなっている。

・市の人口は83,585人、年少人口（0-14歳）11.5%、老年人口（65歳以上）27.7%となっており少子高齢となっている。本市の有する観光資源を有効活用するためのまちづくりを行い、観光の交流人口の増加を図り、一層の地域活性化が必要である。

位置図



事業等の概要

ハード

- まちにぎ
 - ・ 歴史的街路整備
 - ・ せせらぎ空間の創出
- ふるさとづくり事業 (足袋蔵等の改修・活用)
- 水城公園東側園地再整備
- 観光拠点事業
 - ・ レンタサイクルの充実
 - ・ 休憩施設としてのトイレの充実
- 観光案内看板整備
- 公共下水・合併処理浄化槽の整備推進

ソフト

- 観光体験の充実
 - ・ ワーキング・ホリデイイベントの開催
 - ・ 足袋蔵巡り・文化財巡りの開催
- 観光周遊アプリの開発・拡充
- インバウンド観光の推進
 - ・ 外国人観光客向けの多言語表示
- 情報発信
 - ・ 観光ガイドブック及びPR動画の作成
 - ・ フェイスブック、ブログ等の活用
 - ・ 水質改善(合併浄化槽へ転換促進等)
 - ・ 広報紙やイベントでの啓発活動
- チャレンジショップの開設
- 足袋のまち行田活性化プロジェクト

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
観光拠点拡充		●	●	●	●	20百万円
水城公園東側園地再整備			●	●	●	120百万円
まちにぎ	●	●	●	●	●	320百万円
ふるさとづくり事業	●	●	●	●	●	70百万円

忍川を生かした地域づくりについては、関係機関や団体等を構成員とする、(仮称)忍川、酒巻導水路はつらつプロジェクトを立ち上げ、具体的な利活用策を検討のうえ、整備計画づくりや整備後の利活用を進めます。

また、市内の推進体制として、市の事務局(とりまとめ窓口)を企画政策課が担い、市内連携体制のもと事業を推進します。

協議会の体制

■ 構成員(予定)

・行田市

企画政策課, 農政課, 環境課, 商工観光課,
都市計画課, 下水道課, 道路治水課, 管理課,
文化財保護課

・県関係

水辺再生課, 農村整備課, 県土整備事務所,
水環境課, 地域振興センター, 農林振興センター
東部環境管理事務所

・関係団体

元荒川上流土地改良区

地域活動団体

商工会議所

ものづくり大学(市と連携協定を締結)

・地域住民等

沿川の自治会

■ 事務局

行田市総合政策部企画政策課企画政策担当

市内推進体制

■ 担当課(役割)

行田市

・企画政策課

(事務局, 企画, 広報等)

・商工観光課, 都市計画課,

文化財保護課

(観光, 地域活性化等)

・農政課, 道路治水課, 管理課

(施設整備, 維持管理等)

・環境課, 下水道課

(合併浄化槽への転換促進等)

その他(地元の熱意等)

■ 活動団体(川の国応援団等)は河川の清掃活動を積極的に行っており、今後もさらなる河川の維持等に活躍が期待できる。

■ 地元自治会から、川のまるごと再生プロジェクトの延長として、未整備の忍川及び酒巻導水路の整備の要望がある。

■ ポタリングによる市内へ回遊が進み、遊歩道の整備やポタリングの観光コースを増やしてほしいという要望がある。

■ 川の再生プロジェクトを契機として、平成27年3月から自治会連合会によるポタリングイベントが開催されている。

「(仮称)忍川、酒巻導水路はつらつプロジェクト」では、川及び散策路を活用し、まちの活力をアップさせる取り組みを検討します。

また、観光ボランティアなどの協力も得ながら、散策やポタリングイベントを新たに開催し、一年を通じて散策・ポタリングの人が行き交うまちを目指します。

活用計画案

- 花見やとうろう流しなど、整備した川辺やポケットパークを活用して、既存のイベントの更なる集客に努めます。
- 観光協会、NPO法人が中心となり、川と遊歩道、自転車を活用した新たなイベントを開催します。
- 郊外の史跡等と中心市街地を結び、訪れた観光客をまちなかへ誘導し、まちなかの活性化に繋がります。
- 観光ボランティアの育成や、ポタリングを活用した健康づくりやイベントなど、新たな視点での取り組みを実施します。
- ホームページにポタリングマップを掲載し、ポタリングの休憩施設としての親水護岸の利用を促し、また、水辺空間を親しめるよう紹介します。
- ホームページや広報紙において、川の歴史やイベント情報等を発信します。

(親水護岸)

- バリアフリーに対応した親水護岸を整備することにより、高齢者から子どもや障害者まで、水辺空間に親しみのある護岸とします。
- 親水護岸の整備や飛石を設置することにより、子どもたちに水辺や川に関心をもたせます。
- 親水護岸において、ウオーターボートやウオーターボールによるイベントを開催します。

(遊歩道)

- 秩父鉄道新駅であるソシオ流通センター駅を起点とし、忍川上流にある「神社・寺・市指定有形文化財」を巡るポタリングルートを設定します。
- 川と遊歩道をさらに楽しむことができる新たなポタリングルートを設定し、川の魅力を発信していきます。
- 持田駅から文化財を巡るイベントや秩父鉄道とタイアップしたイベントを各種開催します。
- レンタサイクルの貸出場所や台数を充実させ、また、ポタリングの講習会を開催することで、ポタリングの周知を図ります。

既存のイベント

- さきたま火祭り
(主催者: さきたま火祭り実行委員会、内容: 古代神話をテーマにした「火」のまつり、会場: 埼玉古墳公園)
- 行田蓮まつり
(主催者: 行田蓮まつり実行委員会、内容: 蓮にちなんだイベント、食品の販売など、会場: 古代蓮の里)
- とうろう流し納涼大会
(主催者: 行田市観光協会、内容: とうろうを流し、行く夏や故人に思いを馳せる、会場: 忍川)
- 行田ふれあいポタリング&ウオーキング
(主催者: 行田市自治会連合会、さきたま古墳公園や古代蓮の里などの市内の名所を巡る)
- 夢まつり
(主催者: ぎょうだ“夢”まつり実行委員会、内容: 食と農と環境フェスタ 会場: 産業文化会館前)
- 時代まつり
(主催者: 行田商工会議所、内容: 歴史が息づく行田の魅力満載の祭り、会場: 行田市役所周辺)

行田市では、観光客に対し全市民総ぐるみ、いわゆる「オール行田」でおもてなしすることを掲げています。

行田市に足を運んでくれた観光客をおもてなしする意味でも、散策路や史跡等の清掃・維持管理について市はもとより市民、地元自治会、NPO法人などが主体となって取り組みます。

維持管理の概要

■対象施設

- ・遊歩道、樹木、ポケットパーク、一部の史跡・文化財

■維持管理の実施主体

- ・市、自治会、ロータリークラブ、NPO法人

■維持管理の内容と役割分担

- ・遊歩道等の清掃...市、自治会、ロータリークラブ等
- ・史跡・文化財の維持管理...市、NPO法人

■役割分担の検討方法

- ・自治会連合会、NPO法人、ロータリークラブなどが定期的に維持管理を行う。

【既存の活動】

- ・下長野農地環境協議会
活動場所: さきたま調節池 内容: 除草、清掃活動
- ・7自治会(栄町、東栄、宮本、下町、向友会、緑町、春日)
活動場所: 忍川 内容: 清掃活動
- ・NPO法人足袋蔵ネットワーク
活動場所: 中心市街地 内容: 足袋蔵等の維持管理

持続的・自立的な維持管理に向けた取組

■市と活動団体等で定期的に連絡会議を開催し、維持管理の実施状況や課題等の把握に努めます。

■年2回実施している市内一斉清掃(ごみゼロ運動)や、自治会による清掃を整備した範囲まで拡大します。

■市報やホームページでの各活動団体の活動紹介を行う。

■春、桜の開花時期の前に、市内一斉環境美化活動を実施し、市民に参加を呼びかける。

【既存の支援制度】

- ・川の国応援制度(県)
- ・清掃活動費助成金(市)
<概要>
自治会が実施する河川の清掃活動に対し、必要経費の一部を助成する。

■行田市は、埼玉古墳群や忍城、足袋蔵をはじめとする史跡・歴史遺産の宝庫となっています。古代から現代に至るまで、全国に誇れる素晴らしい観光資源があります。

■それぞれの史跡等を会場に市民による多彩なイベントも開催されています。

■水辺の遊歩道(サイクリングロード)を活用することにより、ポタリング・散策コースを多様化し、行田と川の魅力をさらにアピールしていきます。

■水辺再生100プラン、川のまるごと再生プロジェクトの事業により整備された河川と、はつらつプロジェクトによる川の整備が一体化することにより、川の利活用や中心市街地への回遊する観光人口や交流人口の増加につなげ、また、地域住民やNPO法人などスクラムを組んで、行田市の目指すまちづくりの目標「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」を実現してまいります。